

消化器内科

研究課題名

親水コーティングを施した経鼻胃管を併用した胃内視鏡的粘膜下層剥離術の安全性と有効性の検討

研究目的

当院では、胃の早期がんや腺腫に対して「内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」という治療を行っています。この治療では、胃の中に液体や血液がたまり、視野が悪くなることがあります。そのため、以前は通常の経鼻胃管を用いて排液を行っていましたが、親水コーティングを施した新しいタイプの経鼻胃管を用いることで、内視鏡の視野や操作性がより安定する可能性が考えられます。本研究では、過去に通常の経鼻胃管を使用して ESD を行った患者さんの診療記録を用いて、新しい親水コーティング付き胃管を用いた前向き研究の結果と比較し、視野の良好さや手技の安全性・効率性が改善するかを検討することを目的としています。本研究は、診療情報のみを使用し、新たな検査や処置を追加することはありません。得られた結果は、今後の ESD 治療をより安全で快適に行うための改良に役立てられます

研究期間

2025年10月21日～2029年3月31日

利用する試料・情報

2019年4月以降から上記の研究期間に、当院で内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けた患者さんを対象とします。ご年齢、性別などの基本属性、診断病名、既往歴や治療経過(血液検査や画像検査、病理検査結果も含みます)について、カルテ(診療録)の記録をもとに情報収集します。

なお、個人が特定されないよう個人情報保護に配慮しながら、匿名化された研究用データを取り扱います。また、学会・学術誌等での発表に際しても、個人が特定されないよう十分に留意いたします。

試料・情報を利用する者の範囲

研究責任者:消化器内科 氏名 剛崎 有加

もし、この研究活動にご自身の診療記録を利用されたくない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。この場合であっても診療上、不利になることは一切ありません。

連絡先

ときわ会常磐病院 総務課

〒972-8322

福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台 57 番地

TEL:0246-81-5522 FAX:0246-81-5577